

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動

1) 資格認定講習

- ・COVID-19に対応すべく、急遽オンラインにて初実施。
- ・受講者増にも寄与すべく、長期開催（2/6（土）～28（日））にて初実施。
- ・経費削減にも寄与すべく、最低コストにて運営中。
- ・現在37名が受講中（内訳等以下）。
- ・制度改訂については大綱改訂し理事会承認済み、詳細箇所を検討中。

令和2年度受講者数内訳

級	人数
上級	0名
中級	23名
初級	14名

環境再生医受講者推移（直近5年） (単位：人)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
初級	12	2	6	6	14
中級	13	21	17	24	23
上級	0	1	0	1	0
合計	25	24	23	31	37

2) 認定校制度

- ・261名の環境再生医初級取得者を認定。
- 取得者数減少の主要因は、COVID-19による学生の経済的困窮、教員からの対面説明機会激減などと推測（一部認定校担当者より聞き取り）。
- ・新規認定校2校1学部増加（福島大学、人間環境大学）。

認定校数推移（直近5年） (単位：校)

	平成28年 2016	平成29年 2017	平成30年 2018	令和元年 2019	令和2年 2020
①継続	34	34	34	34	35
②新規	1(農大)	0	0	1(拓大国際)	2(福島大・人間環境大)
③関係回復	0	0	1(信州大)	1(江戸大)	0
休眠	11	11	10	9	9
中止	1(神戸国際大/科目廃止)	0	1(IWAD/科目廃止)	1(宮崎大/科目廃止)	1(宮城大/科目廃止)
稼働校計 (①+②+③)	35	34	35	36	37

認定校での認定者数推移（直近5年） (単位：人)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年
認定者数	337	212	257	282	261

令和元年度 認定校 環境再生医 取得者数

学校名		取得者数
岩手県立大学	総合政策学部	6
岩手大学	農学部	1
岩手大学	人文社会科学部	1
江戸川大学	社会学部	1
大阪産業大学	人間環境学部	8
金沢大学	人間社会学域	0
岐阜女子大学	家政学部	1
岐阜大学	応用生物科学部	5
九州産業大学	工学部	16
京都先端科学大学	バイオ環境学部	4
甲南大学	文学部	0
神戸女学院大学	人間科学部	10
神戸大学		12
実践女子大学	生活科学部	3
芝浦工業大学	システム理工学部	24
尚絅学院大学	総合人間科学部	1
信州大学	農学部	23
東京テクニカルカレッジ		11
第一工業大学	工学部	15
拓殖大学	政経学部	8
拓殖大学	国際学部	0
拓殖大学北海道短期大学	農学ビジネス学科	1
玉川大学	農学部	17
玉川大学	リベラルアーツ学部	0
都留文科大学	文学部	10
東海工業専門学校金山校	昼間部	0
東海大学	海洋学部	5
東京農工大学	農学部	8
常葉大学	社会環境学部	0
長崎大学	環境科学部	5
西日本短期大学	緑地環境学科	8
日本工科大学校	環境建設工学科	3
日本大学	生物資源科学部	35
日本大学	理工学部	10
北海道科学大学	工学部	0
龍谷大学	(学部共通)	9
	合計	261

3) 資格制度の質の向上

- ・認定校授業受託はCOVID-19により中止。
- ・環境再生医へ有償案件マッチング実施：1件（環境再生医と認定校）。
- ・環境再生医より協働提案：1件（森林保全プロジェクト）。
- ・環境再生医より寄付支援&提案：2件（損保ジャパン）（相続土地等）。

4) 資格取得者の管理（更新等）

更新率対象者数61名のうち44名が更新を行った。

	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年
更新率	63.2	60.7	69.3	58.9	72.1

② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

1) レンジャーズプロジェクト

レンジャーズ隊員の派遣を23回（中止含まず）行い、218人の参加があった（企業・認定校のレンジャーズは除く）。隊員登録数は4,039名（3月31日時点）である。

尚、新型コロナウイルス感染症拡大防止で昨年3月～6月の活動は全て中止となり、7月の再開以降も社会情勢や地域の感染状況などを踏まえ実施可否を判断した。また、「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン」を作成し、参加者や現地に協力・理解を仰ぎ、感染防止対策を行い活動した。

横浜市内での実施はNPO法人よこはま里山研究所と協働で行った。

また、NPO法人よこはま里山研究所が横浜市より受託した事業「森づくりボランティア体験会」の一部業務をレンジャーズプロジェクトが受託し、隊員を8回派遣した。

団体（東京都公園協会、拓殖大学）から受託したプログラムを実施した。

2) 大阪マラソン

大阪マラソン2020の寄付先団体として選定を受けたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となった。

3) 積水ハウスマッチングプログラム2020年度助成

本助成金事業は、2020年4月～2021年3月まで実施をした。主にリーダーの養成や企業スポンサーの獲得、新フィールドの増加に向けた取り組みを行った。

11月にレンジャーズ・リーダー説明会をオンラインにて開催し、2月に安全管理講習会をオンラインにて開催した。また、企業協賛獲得やボランティア募集の為、SNSの強化やスマートフォン版のホームページ非対応箇所の洗い出しを行った。新フィールドの増加の募集を行い、計6箇所と視察や打ち合わせを行い、東京都1箇所のフィールドを増加した。

4) Panasonic NPOサポートファンド2019年度 環境分野 継続助成

本助成金事業は、2020年1月～2020年12月まで実施をした。プロジェクトの課題解決の為、大きく3つの取り組みを行った。

- ・リーダー不足解決の為、環境教育委員会と連携し、リーダー業務や育成・登用プロセスの見直しなどを行い、新たにリーダー2名、サブリーダー2名を登用することが出来た。
- ・資金不足解決の為、専門家の助言指導を受けながら、企業協賛獲得に向けた取り組みを行い、営業戦略の策定や営業ツールの作成、企業向けメルマガ配信を開始した。その他、SDGsの理解も深め、企業への営業ツールとして、プロジェクトのSDGsの策定を行い、レンジャーズ活動とターゲットの関連性、解決する社会課題等を整理し達成目標を策定した。
- ・業務の非効率・二重処理などを解決する為、業務改善に取り組み、業務の見える化、効率化・削減を行い、1回あたりの作業時間を19.68%削減することが出来た。

5) その他

株式会社イーウェル主催のネクステージクラブのイベントにて、「身近な自然」のオンラインセミナーを12月と2月の計2回実施をした。

③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

1) 農林水産省「農山漁村振興交付金」

農林水産省「令和2年度農山漁村振興交付金」の採択があった地域協議会へ事業化・組織化等の伴走支援や助言等を行った。

団体名称／地域	内容
石巻みらい農泊推進協議会／宮城県石巻市	水産業を中心としたコンテンツ造成、モニターツアーの支援、組織体制確立を行った。
さんむ農泊推進協議会／千葉県山武市	飲食店（洋食・寿司等）や環境保全型農業、観光農園等の多様な主体26団体による多彩なコンテンツ造成、プロモーション媒体作成、組織体制確立を行った。
長柄町林業体験型宿泊推進協議会／千葉県長柄町	ログハウスのセルフビルドプログラムの構築、モニターツアーの支援、プロモーション媒体作成・組織体制確立における情報提供を行った。
たかす農泊実施協議会／岐阜県郡上市高鷲地区	マコモ収穫体験・郷土料理を核としたコンテンツ造成、プロモーション媒体作成、組織体制確立における情報提

	供を行った。
屋久島・平内農泊推進協議会/鹿児島県熊毛郡屋久島町平内地区	環境再生プログラム・リトリート体験等を核としたコンテンツ造成、プロモーション媒体作成におけるノウハウの提供、組織体制づくりにおける情報提供を行った。
屋久島ブルーツーリズム推進協議会/鹿児島県熊毛郡屋久島町	漁業・水産加工業・遊漁船体験を中心とした食育プログラムの造成・プロモーション媒体作成におけるノウハウの提供、組織体制づくりにおける情報提供を行った。
木繋プロジェクト/鹿児島県熊毛郡屋久島町	林業・木工体験を中心とした木育プログラムの造成のためのマーケティングのノウハウの提供、組織体制づくりを行った。農林水産省よりの新型コロナウイルス感染症による期間延長の緊急措置を適応し、次年度から本格的に実施することとなった。
種子島・伊関農泊推進協議会/鹿児島県西之表市伊関	ヘゴの自生群落の調査活動を中心としたインバウンド向けコンテンツ作成の際の情報提供を行った。農林水産省よりの新型コロナウイルス感染症による期間延長の緊急措置を適応し、次年度から本格的に実施することとなった。

神奈川県鎌倉市、千葉県長南町、千葉県市原市、千葉県大多喜町、静岡県松崎町、静岡県下田市、静岡県東伊豆町、鹿児島県屋久島町へ農林水産省「令和3年度農山漁村振興交付金」の活用を提案を行った。

2) 湘南国際マラソン2020

湘南国際マラソン2020の公式寄付先団体として選定を受けたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止となった。

④ 自然体験学習に係る活動

レンジャーズ隊員と環境再生医取得者へ向け、11月にレンジャーズ・リーダー説明会、2月に安全管理講習会をオンラインにて開催した。その他、レンジャーズ・リーダーや事務局ボランティア、事務局職員を対象としたSDGsのワークショップを8月にオンラインにて開催した。(この活動は身近な自然環境の保全部門の担当であるため、経費は担当部門で計上)

⑤ テキスト等の出版に係る活動

環境再生医・第3版 194冊販売 (この活動は環境教育及び環境人材育成部門の担当であるため、収入は担当部門で計上)

⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動

1) ニュースレター

活動報告3回(全4頁)と年次報告1回(全8頁)を発行した。
 発送方法はPP封筒を利用した発送からエコメール便へと変更した。

月・No	内 容
7月 No. 68	2019年度年次報告書、新理事あいさつ、理事退任のあいさつ
10月 No. 69	新理事あいさつ 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクトイベント活動レポート
1月 No. 70	30周年記念あいさつ 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクトイベント活動レポート
3月 No. 71	事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト インターン活動報告、環境再生医「認定校」ご紹介

2) 30周年記念

ニュースレターに理事長と顧問より30周年記念のご挨拶を掲載。HPにはNARECの年表に事業ごとの年表を加えて掲載。また今後の展開なども表明した。

令和2年度事業報告

⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動
特になし

(2) その他の事業
なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動	1) 資格認定講習 2) 認定校制度 3) 資格制度の質の向上 4) 資格取得者の管理(更新等)	1) 2/6～2/28 2) 通年 3) 通年 4) 通年	1) 全国、オンライン 2) 全国 3) 東京都、岐阜県、兵庫県 4) 全国	1) 2人 2) 2人 3) 1人 4) 3人	1) 受講者 37人 2) 認定者 261人 3) 30人 4) 更新者 44人	4,071
② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	1) レンジャーズプロジェクト 2) 大阪マラソン 3) 積水ハウス 4) Panasonic 5) オンラインセミナー	1) 通年 2) 大阪 3) 通年 4) 4～12月 5) 12/19, 2/11	1) 埼玉県、東京都、神奈川県 2) 大阪 3) 東京 4) 東京 5) 東京	1) 5人 2) 0人 3) 4人 4) 4人 5) 5人	1) 登録者 4,039人 2) 0人 3) 登録者 4,039人 4) 登録者 4,039人 5) 参加者 計79名	7,088
③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動	1) 石巻みらい農泊推進協議会 2) さんむ農泊推進協議会 3) 長柄町林業体験型宿泊推進協議会 4) たかす農泊実施協議会 5) 屋久島・平内農泊推進協議会 6) 屋久島ブルーツーリズム推進協議会 7) 木繋プロジェクト 8) 種子島・伊関農泊推進協議会	1) 通年 2) 通年 3) 通年 4) 通年 5) 通年 6) 通年 7) 通年 8) 通年	1) 宮城県石巻市 2) 千葉県山武市 3) 千葉県長柄町 4) 岐阜県郡上市 5) 鹿児島県熊毛郡屋久島町 6) 鹿児島県熊毛郡屋久島町 7) 鹿児島県熊毛郡屋久島町 8) 鹿児島県西之表市	1) 3人 2) 3人 3) 3人 4) 3人 5) 3人 6) 3人 7) 3人 8) 3人	1) 6人 2) 20人 3) 5人 4) 5人 5) 5人 6) 6人 7) 8人 8) 11人	12,998
④ 自然体験学習に係る活動	特になし					0
⑤ テキスト等の出版に係る活動	特になし					0
⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動	ニュースレター	年4回	東京	4人	発送数 1,215件	1,725
⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動	特になし					0

(2) その他の事業
なし